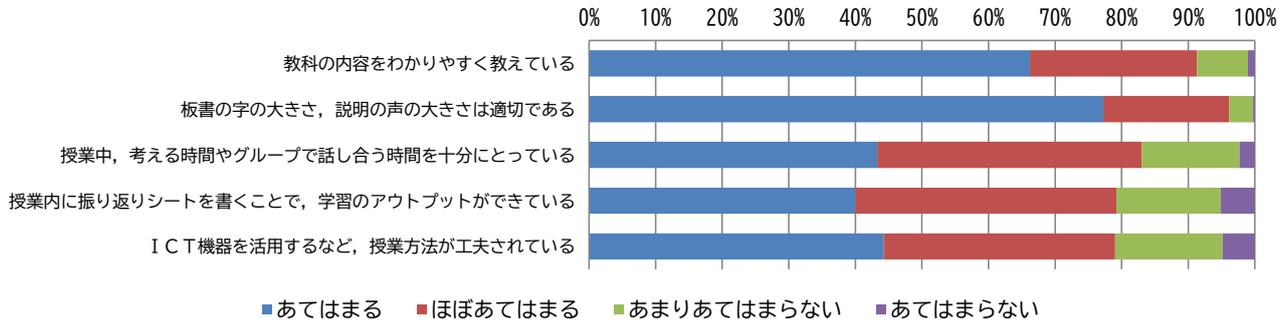


令和7年度 1学期 生徒授業評価アンケート

教科名	数学	重点目標	ICT等を活用した授業を展開し、話し合い活動などを通して生徒が主体的に取り組む授業を行う。単元ごとに振り返りやレポートでまとめるなどの作業を行うことで、学習内容をアウトプットできるようにする。
-----	----	------	--

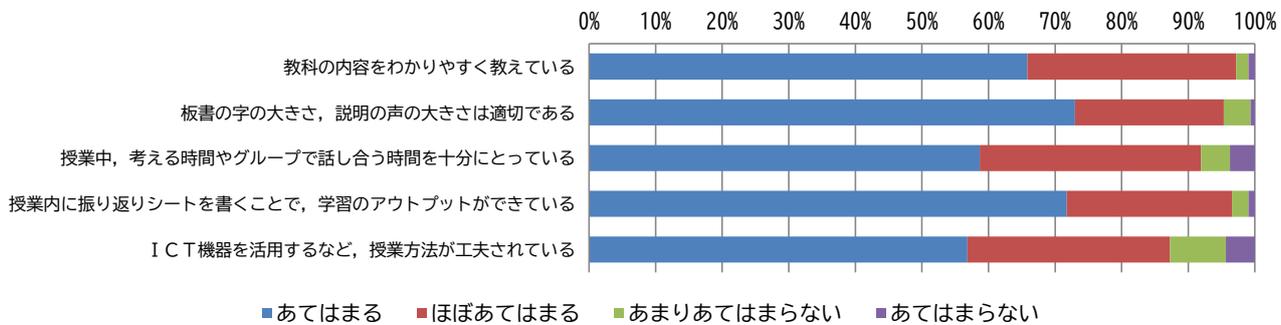
学習指導に関する現状と課題（1学期・生徒による授業評価アンケートより）

1年 数学



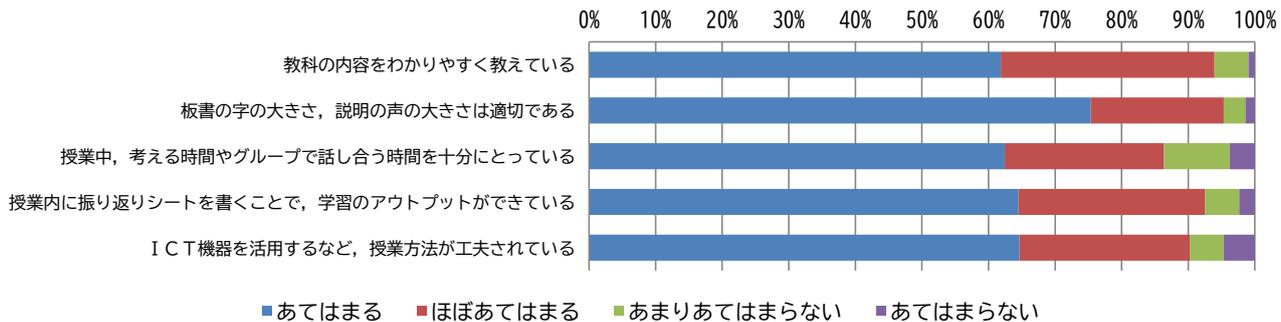
分析
 約9割の生徒が学習内容を概ねわかりやすいと評価している。これは、板書の字や説明の声の大きさ、使用する教材等が適切であり、小単元ごとのテストによる学習のアウトプットが大きく起因していると考えられる。それに対して、ICT機器を活用するなどの授業方法の工夫については、2割の生徒が否定的な回答をしていることから、2学期では単元ごとにICTを用いることで理解がより深まる内容で積極的に活用していく。また、考察時間や話し合い活動の時間については、1割強の生徒が否定的な回答をしていることから、2学期では授業内で扱う問題数や問題内容と生徒の考察時間のバランスが重要となる。

2年 数学



分析
 95%以上の生徒が教科の内容をわかりやすく教えていると感じている。これは板書の字の大きさ、説明の声の大きさが適切であることや、昨年度から授業の初めに計算プリントを実施し、基礎学力が向上したことによる理解度の向上が起因していると考えられる。また、95%の生徒が振り返りシートを授業中に記入することで、学習のアウトプットができていますと評価しており、生徒が振り返りシートによるアウトプットを実感していることが伺える。改善点として、授業方法が工夫されているかという項目においては、約10%の生徒が否定的な評価をしている。これは授業においてICT機器をあまり使用していないことが大きな要因となっている。

3年 数学



分析
 ほとんどの項目で肯定的な意見が90ポイントを上回っており、特に「内容をわかりやすく教えている」「板書の大きさ、説明の声の大きさが適切である」といった基礎的な項目の結果が評価されている。一方で、「授業中、考える時間やグループで話し合う時間を十分にとっている」という項目は80ポイントを上回るにとどまっている。一方的な伝達の授業にならないよう、担当する教員全員で共通理解をして取り組んでいく。